

MYSTERY ヘッドスペックとスイング解析器「GEARS」による徹底試打レポート

### オーソドックスな形状だが、つかまりと操作性を両立する MYSTERY PROTO 460 TOUR LIMITED(適合) & LIMITED EDITION(高反発)

数字はウソをつかなかった。ヘッドスペックとスイング解析器「GEARS」による試打結果が見事に一致した。誰もが安心してスクエアに構えられるヘッドはスイングにも大きな影響がある。その全貌を公開する。

#### ニュートラルな重心設計は シャフトに与える負荷が少ない

今までは、計測データに基づいた評価をしていたが、今回はスイングだけでなくクラブ挙動も丸ハダカにする「GEARS」による検証を行った。

下記に記載したように今回の2モデルは、PCMで計測した平均値に近い重心設計となっている。これらのヘッドをPCMでは黄金スペックのヘッドと呼んでいる。そのため、極端なヘッド挙動が抑えられてシャフトへの負荷も少なくゴルファーの意図したインパクトを迎えることができるという評価ができるが、果たして試打結

果はどうか。

今回はスイングタイプの異なる5名によるテストを行った結果、誰もがミート率1.45以上を叩きだした。装着されているシャフトの好き嫌いはあるものの、シャフト特性を上手く引き出すヘッドということが分かった。

「ヘッド選びの一番は構えた時のルックスが大事ですが、この2モデルは外観のラインのつながりが綺麗で美しいルックスとスクエアに構えられるのは安心感がありますし、弾道をイメージしやすいです。見た目は重心距離長め、重心深度深めに見えますがこの重心設計は見事です。期待以上の高弾道・低スピンの結果を出してくれました」とテスターの筒はいう。

「GEARS」ではスイング中のロフトやフェース角、トゥダウなどを計測しているためアドレスからフィニッシュまでの変化を読み取ることができる。今まで目視で捉えた感覚を数値化できるため重心設計が如実に詳細に分かるのだ。

「確かに切り返しからインパクトまでのヘッドの動きが分かるので操作性がいいですね。ちょっとミスショットしても弾道に大きな違いが出ないこともいいですね。DAT55Gフェースは打

感がマイルドでボールが食い付く感触も好きです。高反発モデルの方が軟らかさと初速の速さは勝ってますね」とテスターの小松はいう。

昨今、重心距離長め、重心深度深めのドライバーが増えているが、結果の出ていないゴルファーには原点に立ち戻ると意味でこの2モデルをオススメしたい。

PROTO 460 Tour Limitedは美しいルックスとスクエアに構えられると好評です。標準的な重心設計はつかまりと操作性が秀逸です。一方、PROTO 460 Limited Editionは高反発モデルで美しいルックスはそのままにシニアや競技に出ないゴルファーに飛ぶと人気です。

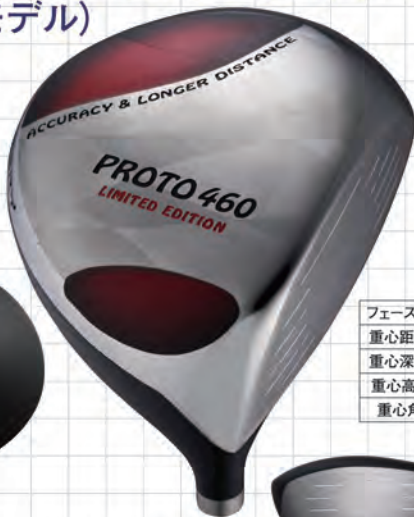


たかはらひろひと  
代表 高原秀仁さん

ピア ゴルフガーデン・ゴルフ工房  
〒518-0823三重県伊賀市四十九町1626  
TEL: 0595-24-6678



#### PROTO460 Limited Edition (高反発モデル)



フェース高	58.0mm
重心距離	37.1mm
重心深度	36.9mm
重心高さ	37.3mm
重心角	22.1度

#### Spec

素材製法:フェース/DAT55Gレーザーミリング加工、  
ボディ/6-4チタン精密鍛造  
ロフト:9.5・10・10.5・11・11.5・12・12.5°  
ライ:59.0°  
体積:458cm<sup>3</sup>  
ヘッド重量:191.5g±

#### PROTO460 Tour Limited (適合モデル)



フェース高	58.0mm
重心距離	36.8mm
重心深度	36.6mm
重心高さ	36.5mm
重心角	21.2度

#### Spec

素材製法:フェース/DAT55Gレーザーミリング加工、  
ボディ/6-4チタン精密鍛造  
ロフト:9・9.5・10・10.5・11・11.5°  
ライ:59.0°  
体積:458cm<sup>3</sup>  
ヘッド重量:196.5g±

【お問い合わせ先】

(株)和宏エンタープライズ

TEL.06-6390-6131  
FAX.03-6390-6132